

令和7年9月5日に静岡県菊川市で発生した突風及び  
御前崎市で発生した被害について  
～気象庁機動調査班による現地調査の報告～

9月5日12時50分頃、静岡県菊川市半済（はんせい）付近で発生した突風の種類は竜巻の可能性が高いと判断しました。その強さは風速約45m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当します。

13時00分頃、菊川市神尾（かんのお）付近で発生した突風の種類は竜巻の可能性が高いと判断しました。その強さは風速約40m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF1に該当します。

13時30分頃、菊川市西横地（にしよこじ）付近で発生した突風の種類はダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高いと判断しました。その強さは風速約35m/sと推定され、日本版改良藤田スケールでJEF0に該当します。

また、9月5日12時40分頃、御前崎市において発生した被害は突風によるものとは確認できませんでした。

9月5日12時50分頃、静岡県菊川市半済付近、神尾付近、西横地付近で突風が発生し、看板の倒壊、針葉樹の根返り、木造住宅の屋根ふき材のはく離などの被害がありました。

また、12時40分頃、御前崎市において、鉄骨造倉庫の屋根ふき材の浮き上がりなどの被害がありました。

このため、9月10日に、静岡地方気象台は、突風をもたらした現象を明らかにするため職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

（I）12時50分頃、静岡県菊川市半済付近で発生した突風

1. 突風をもたらした現象の種類

突風をもたらした現象は、竜巻の可能性が高いと判断した。

（根拠）

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。

- ・被害や痕跡は帯状に分布していた。
- ・被害や痕跡から推定した風向は不規則であり、様々な方向がみられた。
- ・突風はごく短時間（1分程度）であったという証言が複数得られた。

## 2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約 45m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF1 に該当する。

(根拠)

- ・看板の倒壊

## (Ⅱ) 13時00分頃、菊川市神尾付近で発生した突風

### 1. 突風をもたらした現象の種類

突風をもたらした現象は、竜巻の可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・被害や痕跡は帯状に分布していた。
- ・被害や痕跡から推定した風向は不規則であり、様々な方向がみられた。
- ・突風はごく短時間（1分程度）であったという証言が複数得られた。

### 2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約 40m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF1 に該当する。

(根拠)

- ・針葉樹の根返り

## (Ⅲ) 13時30分頃、菊川市西横地付近で発生した突風

### 1. 突風をもたらした現象の種類

突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・突風発生時に活発な積乱雲が付近を通過中であった。
- ・漏斗雲または移動する渦の目撃など、竜巻の発生を示唆する情報は得られなかった。
- ・被害や痕跡から推定した風向に一様性がみられた。
- ・突風は比較的長時間（10分程度）であったという証言が複数得られた。
- ・突風は強雨を伴っていたという証言が複数得られた。

### 2. 突風の強さの評定

この突風の強さは、風速約 35m/s と推定され、日本版改良藤田スケールで JEF0 に該当する。

(根拠)

- ・木造住宅の屋根ふき材のはく離

(IV) 12時40分頃、静岡県御前崎市で発生した被害

1. 被害をもたらした現象の種類

この被害をもたらした現象は、突風とは確認できなかった。

(根拠)

- ・被害や痕跡、聞き取り調査から、突風に関する情報が得られなかった。

※この資料は、速報として取り急ぎまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問い合わせ先

東京管区气象台 地域防災推進課

担当者：眞下（ましも）・中澤

電話：042-497-7217

【参考】日本版改良藤田スケール（JEF スケール）

階級	風速の範囲 (3秒平均)	主な被害の状況(参考)
JEF0	25～38m/s	木造の住宅において、目視でわかる程度の被害、飛散物による窓ガラスの損壊が発生する。比較的狭い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。／園芸施設において、被覆材(ビニルなど)がはく離する。パイプハウスの鋼管が変形したり、倒壊する。／物置が移動したり、横転する。／自動販売機が横転する。／コンクリートブロック塀(鉄筋なし)の一部が損壊したり、大部分が倒壊する。／樹木の枝(直径2cm～8cm)が折れたり、広葉樹(腐朽有り)の幹が折損する。
JEF1	39～52m/s	木造の住宅において、比較的広い範囲の屋根ふき材が浮き上がったり、はく離する。屋根の軒先又は野地板が破損したり、飛散する。／園芸施設において、多くの地域でプラスチックハウスの構造部材が変形したり、倒壊する。／軽自動車や普通自動車(コンパクトカー)が横転する。／通常走行中の鉄道車両が転覆する。／地上広告板の柱が傾斜したり、変形する。／道路交通標識の支柱が傾倒したり、倒壊する。／コンクリートブロック塀(鉄筋あり)が損壊したり、倒壊する。／樹木が根返りしたり、針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53～66m/s	木造の住宅において、上部構造の変形に伴い壁が損傷(ゆがみ、ひび割れ等)する。また、小屋組の構成部材が損壊したり、飛散する。／鉄骨造倉庫において、屋根ふき材が浮き上がったり、飛散する。／普通自動車(ワンボックス)や大型自動車が横転する。／鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。／カーポートの骨組が傾斜したり、倒壊する。／コンクリートブロック塀(控壁のあるもの)の大部分が倒壊する。／広葉樹の幹が折損する。／墓石の棹石が転倒したり、ずれたりする。
JEF3	67～80m/s	木造の住宅において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。／鉄骨系プレハブ住宅において、屋根の軒先又は野地板が破損したり飛散する、もしくは外壁材が変形したり、浮き上がる。／鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが比較的広い範囲で変形する。／工場や倉庫の大規模な庇において、比較的狭い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。／鉄骨造倉庫において、外壁材が浮き上がったり、飛散する。／アスファルトがはく離・飛散する。
JEF4	81～94m/s	工場や倉庫の大規模な庇において、比較的広い範囲で屋根ふき材がはく離したり、脱落する。
JEF5	95m/s～	鉄骨系プレハブ住宅や鉄骨造の倉庫において、上部構造が著しく変形したり、倒壊する。／鉄筋コンクリート造の集合住宅において、風圧によってベランダ等の手すりが著しく変形したり、脱落する。